麻生町報

発行所 麻生町役場
地番二四町生麻
発行人 高野勝
印刷所 麻生印刷所

社會教育の振興と新生活運動をめざして

社会教育研究協議会

最近各地域社會の社會教育の振興振りは目ざましいものがありますが、これは舊町村教育委員會の發足當時よりの功績の一つと考えられます。またそれだけに関係者の責任の重大さが痛感されます。更にこのたびの合併による新麻生町發足に當つては一層今后の社會教育の振興について研究することは、各社會教育関係者の最も緊要なる事であると教育委員會事務局、教育委員社會教育委員、公民館長及び公民館運營審議委員等協議の結果十一月二十日麻生町公民館に於て社會教育研究協議會を開催したが、當日の參加者は右の関係者の外青年団代表婦人會代表、農事研究會代表PTA代表、學校代表等約百二十名で研究協議、題は左の二題について行われた。

一、新麻生町の社會教育の振興を如何にしてはかるか。

二、新生活運動を公民館が中心となつてどう進めたらよいか。

尚左記の通り各團体代表者の發表があつた。

一、小高青年団の運營について
　小高青年団長 箕輪英雄 氏

二、麻生町連合青年団の運營について
　町連合青年団代表 棚谷德治 氏

三、私の婦人會に學んだ道
　大和婦人會長 香山津貴江 氏

四、PTA會の現狀
　行方小學校PTA會長 鴨下亀平 氏

五、農事研究會の運營に就て
　町連合農事研究會長 小峯新 氏

右發表の終了後、講師茨城縣教育廳社會教育課主事檜山正雄先生、全行方出張所主事吉田明一先生より懇切なる指導があり午后四時閉會したが、當日は天候にめぐまれ又參加者各位の熱心なる研究心とにより出席率は九十九%で盛會をきわめたが、特に麻生小中學校生徒により晝食の時間にレクリエーションをしていたゞいたことは一段と精彩を加得たと思い兩校先生方の涙ぐましい努力の賜であると厚く感謝する次第である。

今月の税

◎税は納期内に◎

今月は町民税第四期の令書が交付されます。納期は一月二十一日から一月三十一日までです令書が届いたら納税組合を通じて納期内に完納して下さい。

1月末日人口

	男	女	計	世帯數
麻生地區	2,997人	3,140人	6,137人	1,113
太田地區	1,206	1,223	2,429	390
大和地區	2,793	3,038	5,831	913
行方地區	1,443	1,517	2,960	503
小高地區	1,967	2,063	4,030	691
計	10,406	10,981	21,387	3,610

新年の挨拶

町長 高野勝

新らしい希望に滿ちた昭和三十一年の初春を迎え、町民の皆様にお喜びを申上げますと共に日頃の御協力に對しまして衷心から感謝を申上げるものであります。

町村規模の適正化が強く叫ばれまして、昨年は郡下の二十ヵ町村が五ヵ町村に合併、當町もまた一町四ヵ村の大同団結が結ばれまして、新生麻生町が發足したのであります。

爾來私どもは町の發展と町民の福祉を念願して、この施策の實現に努力を拂つて參りましたが、何に致しましてもこれに優先するものは財政の健全化のなにものでもないことに氣つくのであります。

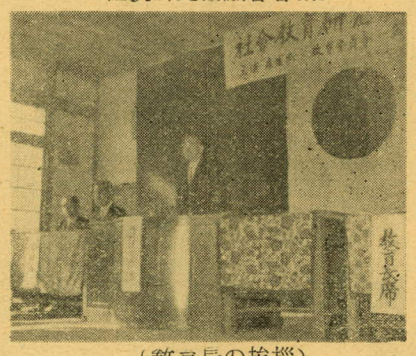
ことしこそ新町建設計画に磨きをかけ、合併の眞價を發揮する最良の年にならしめたいと考えております。

昨年は思いがけない農産物の豊作でもありましたし、町民の皆さんの理解のある御協力によりまして、當町の行路に明るい見透しがつきましたことはほんとうに心強い限りであります。

今後更に新たな五ヵ年計画による心構いと人の和によつて計画を着實に推し進め明朗な町造りに最善の努力をして參る所存でありますので、町民各位の絶えざる御協力を切望いたします。

新町發足後初めて迎えた意義深い新春に當つて皆さんの幸福と町の發展を祈念しまして年頭の御挨拶といたします。

（社教研究協議會會場）



（教育長の挨拶）

教育委員会定例会開かる

教育委員會十二月定例會は二十六日十時より麻生町役場會議室で開會し、管内小中學校の營繕、設備等の五ヶ年計画について審議し、十一時二十五分閉會した。

年頭に當つて

麻生町教育長 井村武達

新町發足の第二年を迎えるに當り町民の皆様の御多幸を心から祝福申上げますと共に、第一年教育財政の基盤計劃におよせ下すつた御誠意に對して心から御禮を申上げる次第で御座います。

現在本町管下十二校に學ぶ約五千名の小中學校の兒童生徒の將來こそは新町發展への根基であり、父兄の重大なる関心事であることは申迄もありません。明日を荷負うてすくゝと伸び行く子供の將來にわたくし達は大いなる期待と希望をかけて新なる年も亦最全の努力を致すと共に、皆様の最大の御協力を切望致す次第であります。

尚これらの兒童生徒を圍繞する環境面に於ける社會教育面についても第一年は新町將來への發展を考慮しての組織と整備に了りましたが、漸時内容面への活動に移ることゝ存ますのでその際は是非とも町民の皆様の絶大なる御理解と御協力を御願いいたします。

現今國家的にも地方的にも財政窮迫の折財政立て直しという立場からやゝもすると教育の低下を招來する様な施策の行われるのではないかということを危惧するものであります。然し勿論教育といえども國家乃至は地方の財政を離れて考えることは不可能でありますが、財政と共に教育の本質的立場から考究されなければならない性格のものであり單なる消費的支出であるという面からのみ教育の振興を阻害するようになつては國家發展の爲にも悔を千載に殘すの恐れなしとしないので此の点についても皆様の深い御理解と關心を期待し、教育の正常な發展を希求して止まない次第です。

本年の成人者は四百三十五名

十五日成人式擧行

一月十五日成人の日は國民の祝日に関する法律が制定されてから八回目の成人の日を迎えるのであるが、本町に於ては、當日町村合併後始めての成人式を行うことになつている。本年度の成年該當者は四百三十五名で、これら成年の社會人としての門出を祝福するため麻生町公民館に各層関係者多數出席して盛大なる成年式典を実施して、これら成年には、成年証書並記念品を贈呈し、成年となつたよろこびを祝すると共に公民としての新らしい門出に激勵のことばをおくり意義ある成年式を擧行することになつている。

尚當日は、茨城縣兒童教育相談所長今宮先生が來町記念講演をして下さるが、終了後は午后一時より映畫觀賞を行つて一日を有意義にすごす豫定である。

兒童の作品發表 第二回

税金と道路

小高中學校三年 松兼初枝

これから寒くなると、私達は毎日霜どけのぬかる道を通つて、學校へ行かなければなりません。

或日私は父に「私達の村も今度麻生町へ合併になつて、私達の通學する道も砂を敷いてもらえるんだつぺな」と尋ねましたら、「急というわけにはいかなくても、段々にはよくしてくれるだろうが、それには何といつても、町の財政がゆたかにならなければ出來ないだろうね。町の財政のもとは町の人達がみんなで納める税金なのだから、税金を期限までに誰も納めるようにすれば、役場の方でも計画通りに仕事がどん〳〵進められわけで、反對に一部の者でも納めずにいると、せつかくなおそうとしていた計画も実行出來ないから道路も良くならないというわけだ」といわれました。又私は父にたずねました。「納めない人もあるのか」といつたら「殘念ながら役場の人に聞くとなか〳〵納めてくれない人もあつて困つているそうだ。税金を納めないで、町にあれもやつてくれこれもやつてくれとたのんでも、町長さんはじめ町治の政をあずかる方では困るばかりだ」と聞いて、私も少しづゝ納税の大切なことがわかつてきました。

私は滯納している人に「早く納めて下さい」とお願いしたくなりました。税金がよく納まつて私達の通學する道路が、早くぬからなくなるようにと思つています。

納税

小高中學校一年 大原幸子

納税完納とか、納税の義務とか言うことは、今までにも耳や目にもよく入つていましたが、私達はその意味がよくわかつてはいないのでした。それはやつぱり納税の義務者ではなかつたせいと思いました。そこでお父さんに聞いてみましたが、ほんとうに納税がどれ程大切なものであるかという事がわかりました。

それは、まず第一に、私達が學校に行つて樂しく勉強の出來るのも、村や町が豊になるのも、國が榮えて來るのも皆税金によつてきめられる問題であることがつくづく考えられて來ました。町や村縣や國で色々の資金などに當てるお金は皆税金から出て來るのでもし滯納が多かつたら、町村役場、縣廳、政府等で、豫算だけで仕事が出來なくなる。そうなることは、國も町も村も、榮えて行く事が出來なくなり、私達の暮しも暗くなつてしまいます。こう考えると納税程大切なものはないと思います。私達もやがてその義務者となつた時は、相當の税金は必ず完納して、國家の幸福を祈りたいと思います。

小作料は從來の2倍から4倍に

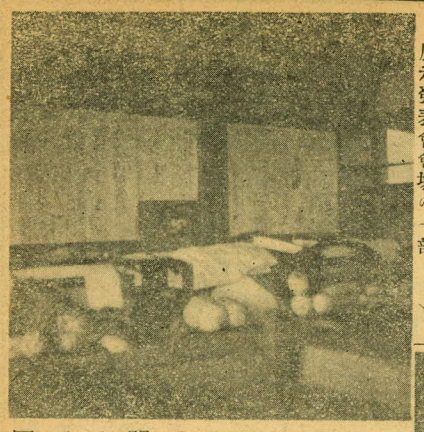
――改訂小作料について――

昨年末知事の認可を得て小作料を改訂して農地の貸主、借主相方に對し御通知申上げましたが、中には多數のため通知洩れや、誤記等がありましたが、逐次整理致しました。原則は一々関係者に通知せず役場で縦覧の程度でよいわけですが色々個人的に問題が起ると困るので當委員會は關係者相方に通知を出し的確を期したようなわけですから御了承下さい。

尚小作料決定届書は當方で通知した最高小作料で取引きする場合には改めて届出なくとも通知書に記載しました通り最高額で決つたものとして委員會では取扱います。只くれぐれも最高額より底く決定された場合には必ず届出をして下さい。

小作料は大体從來の二倍乃至四倍位上つています。

委員會で調査對照したところでは固定資産税より小作料が安いと云う場合は特定のものを除きない様に見受けられます。



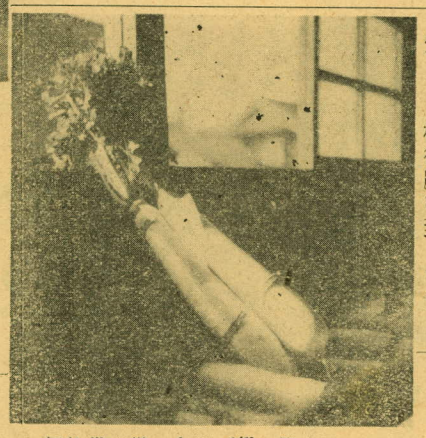
（十二月十四日行われた農事展示發表會會場の一部）

小作料は全部一筆毎の調査によつて決定されていますので場所によつては從來の小作料に比較して上らないという感じを抱く場合があります。

例えば田の一反二畝と一畝と二〇歩と一五歩と四筆で地積のところを一人の耕作人に貸付て居た様な場合、從來は全部を一括して何斗何升、苗の面積があるから小作料は何俵何斗と入付けていたわけですその現物の小作料を農地改革と全時に石當り七五圓に換算し金納とし、昭和二十五年にこれが七倍になり、今度の改訂迄續いていたわけです。

今度の小作料は一筆毎ですから右の様な場所の田は比較的安くなります。一括して計算した場合一畝足らずの田でも牛、馬耕が出來ますが、二〇歩、一五歩位の田丈一筆を考えた場合には、牛、馬耕は不能として算出されますので割安になる場合が出來ることもありますから御了知願います

尚小作料決定について不信な点がありましたら委員會に來て十分御了解の出來る迄御尋ね下さる様御願い致します。



（品出氏治繼堀新）根大の得獲賞等優

地力増進の一助として

無硫酸根肥料を使つて増産いたしましょう。

増産必行事項として、農閑期を利用して堆肥の増産を圖り（反當施用目標三〇〇貫）地力の増進を圖らう。

わらの整理搬入、林野堤塘の枯草、落葉の蒐集、河川湖沼の藻等の蒐集、灰の蒐集、沼池及溝等の泥土の収集、水田乾土の勵行

堆肥の雨ざらしは肥料分の八〇%が逃るから屋外堆肥には必ず覆蓋をし品質の向上を圖りましょう

◎歳末たすけ合い運動

この運動は年の暮（舊）にあたり地域の人々の血の通つた温い心を結集して、不幸な人たちを慰め勵まし、みんな揃つて明るい年越しが出來るよう地域住民が思やり、共助の精神により不幸な人たちを物心兩面より援助し、もつて更生意欲を振い起すようお互に助け合いの精神を高揚し本運動が尚一層住民の理解と協力を得たいと思います。

實施期間

昭和三十一年一月五日から三十一日まで

實施事項

一、金品きよ出運動（一戸十圓以上）

年頭に憶う

新年おめでとうございます

一九五六年を迎えまして、われ〳〵が望んでいることがらはいろ〳〵あります。

しかし、全國民が共通してしかも擧げて待ち望んでいる大きなものに、社會保障制度の全面実施があることは誰れも知つてゐるところであります。

なるほど國民の一人〳〵が病氣にさらされ、或は病氣による生活苦にさらされ、或は病氣による生活苦にさらされ放題のまゝではどうして、町や村が榮え、その府縣が榮え延いては國家が榮えるだろうか又逆に國家は、國家社會を構成する單細胞である國民一人一人の苦衷を見捨て、又眼を覆つて向う意氣の強い施策ばかり押し進めてもうまくゆかないのは當然ではないでしょう。

國保係

國民健康保險は幸ひにも國家唯一の全國民を對象とする救濟制度であります。

しかし現在わが町では、國民健康保險は舊大和地區のみで遺憾ながら貧弱であることを認めざるを得ないのであります。

よろしく國民健康保險を今年こそ强制化して、しかも内容も、貧困者、身体障害者等を救うべく、あらゆる福祉事業を含めさせ町の大業として是非これだけは實現してほしいものであります。

味噌つくりの基準

成人の一人毎食五〇グラムの味噌汁として、三食用いるとすれば、日量一五〇グラム（四〇匁）年間一四貫六〇〇匁いることになり、之に要する大豆は原石で八升三合となるが、三食共味噌汁を使うことは少いから、實際には六升として計算すればよいことになります。

今四斗の味噌を作る時の原料の基準を書き上て見ましょう

原料	原料の容量	仕込時の容量	重量
大豆	一斗	二、四斗	九、三〇〇貫
小麦	一、二五	一、五	四、三五〇
塩	〇、五	〇、七	二、二四〇
種水			〇、五〇〇
			〇、一

◆反当に要する勞力は？

水稲	二三、〇人
大麦	二三、八人
小麦	一一、四人
ジャガイモ	二九、七人
大豆	一〇、六人
小豆	一〇、一人
ねぎ	六一、〇人
玉ねぎ	三七、六人
白菜	三五、四人
煙草	一四一、五人
大根	三〇、二人
ナタネ	一六、四人
ナス	八〇、六人

戸籍便り

十一月分の届書より（敬稱略）

出生の部

粗毛　吉崎進長男正詳
麻生　平野忠次郎長男忠治
仝　石神健男二男猛男
富田　高崎美喜夫長女美代子
麻生　羽生和男二女洋子
仝　野川和男二男和信
富田　中村豊三長女ひろ子
麻生　中村正男長女榮子
仝　高橋正二男亨二
富田　小倉唯男三女よね
矢幡　荒野進二男和夫
石神　稲川隆之二女光子
仝　東山四郎二男俊幸
仝　堀越吉男六男尚彦
仝　寺内忠德長男正人
矢幡　矢幡一郎長男安一
白濱　中川昇一長男一美
青沼　横山哲昌二男昌彦
仝　横山安正二男正英
白濱　邊田正男三男文男
青沼　原目保三女美智子
小牧　渡邊良男長女芳枝
新宮　鬼澤守長女直子
小牧　宮崎嘉章長男重雄
白濱　横田義衛長男義一
仝　荒張昌信二女鈴子
宇崎　平山高德四女登美江
麻生　吉崎豊長女文江
島並　大野卓夫三男秋男
橋門　茂木實長男英昭
小高　箕輪貞男長男明人
島並　松兼宏長男宏信
行方　小沼清衛長男吉衛
五町田　阿部金藏長女ふみ子
仝　目塚芳藏二女靜江

死亡の部

粗毛　小倉たつ
富田　濱田音太郎
麻生　吉川高次
石神　庄司洋子
根小屋　金田泉一
矢幡　宮内隆次
仝　土子よし
籠田　石神つる子
宇崎　海老澤とく
青沼　横山まさ
船子　根本祝子
行方　新治吉兵衛
南　羽生啓次郎
仝　宮崎武
小高　箕輪重信

以上の人達であつた。

嘱託兼統計調査員の訃

嘱託兼統計調査員椎名政江氏は永らく病床にありましたが去月三十一日死亡、一月三日自宅で葬儀を執行しました。

氏は拜命以來、常に積極的熱意をもつて斯業に精勵、その功績は大なるものがありました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

税金は何んの爲に

小高中學校二A　棚谷まさ

各市町村の皆様、もう今年の、あるいは去年の税金はおさめ終りましたか。私はまだ中學生なので税金については不案内ですが、私の思いついた事、又、考えついた事をのべさせていただきたいと思います。税金を取りに來る人がきますと、「私の家は凶作だから……」とか「私の家は食べるのにやつとだから……」「今日は誰もいないから」と言うようにおさめるのをさけるのではないでしょうか。私はこんな事はどうかと思います。なぜかと言えば、税務署の人達をはじめ、各市民、町村民が相談の上で決つた制合だと思います。それは各々の家がすぐ出すという事は無理なのはあたりまえなのです。ですが、前々からちやんと税金はちやんとした家族のもの全部がわかり易い所において取りに來たら「はい」とすぐ出せるようにすれば大變便利で、又いやな氣持もしないですむのではないでしょうか。又、私達のおじいさんおばあさんの時代は今のように、全國民の決めた割合でなく、領主あるいは大名達の都合の良い割合に決めたのだそうです。だから五公五民つまりある家で十俵とれたとすると、五俵は領主に、後の五俵は食べて行くのにと、こんな割合になつていたそうです。それがだんだんひどくなつてきて七公三民、あるいはもつとひどく八公二民、しまいには九公一民というような狀態になつてしまつたのだそうです。それから思うとこの時代に生まれたおとうさん、又、おとうさん、おかあさんになつた時この時代が始まつたと言う人達は非常に樂であると思います。ですから一番に明るい氣持で出す事だと思います。このように私達のお父さん、おかあさんが氣持よく出せば税金を取りにきた人はもちろん、市町村長さん達はいつも明るい、ほがらかな心で私達の住み良い、そして便利な良い土地にしてくれるでしょう。私達の町も今年の三月三十一日に合併して一町四ケ村が一つの新しい町になりました。これもみな各地の農民あるいは商人がおさめた税金によるものだと思います。私達はちよつとさびしいとも思いますが、大きな町になつた事はなんといつても喜びようのない事です。將來の希望もこの町から、幸福もこの町から、大きく大きくわきいでるのではないでしょうか。皆様が良い町に、又美しい町にと祈るなら、一ツ時も早く、一秒間も早く税金をおさめて、毎日の仕事が明るい、そして樂しいものにすれば、笑いをふくませておさめた税金が、良い、明るい、美しい、樂しいそして住み良い市、あるいは町や村が出來、縣の人達、さらに日本全國民がいつもいつも、すえ長く、樂しい日々を送り、後からお父さん、お母さんになる人達に明るい大きな希望を持たせるのに役立ち、やがては世界の各國どの國にもおとらないめいよな美しい日本國土が出來上がる事でしょう。これでこそ、税金をおさめる樂しみがあることだろうと断言します。私達はいつまでもいつまでも、この大きな希望を失なわないつもりです。又皆様も「税金は何んの爲におさめているか」という事をわすれないで早く美しい日本國土を作り上げて下さい。